

なでしこ新聞

NADESHIKO NEWS PAPER

医療法人 起生会
表参道 吉田病院
介護老人保健施設 なでしこ
熊本県熊本市中央区
北千反畑町2-5
http://www.kiseikai.or.jp/

Attention News

電子カルテについて

はじめに

平成29年4月から半年間の準備期間を経て、平成29年10月1日より表参道吉田病院、老健なでしこにソフトマックス株式会社の電子カルテ(e-records)が導入されました。

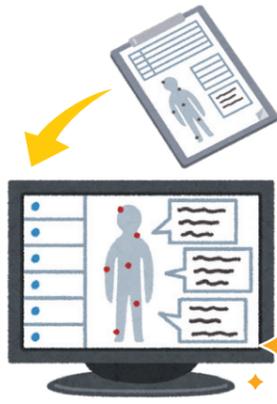
同時に医事、検査、健診、看護勤務の各システムの入替え、新規導入も行ってまいります。

稼働初日は診察が回らないのではないかと不安もありましたが、事前にリハーサルを繰り返し行っていた事もあり、致命的なトラブルはありませんでした。しかし、当初は操作に不慣れな事もあり、患者様をお待たせする事もしばしばあったかと思いますが、現在はトラブルも少なくなりましたと感じております。

電子カルテ導入のメリット

従来は患者様の情報を閲覧する際、紙カルテを手元に持ち運ぶ必要がありました。専用のパソコン(端末)がある場所であればどこからでも閲覧可能となり情報共有ができるようになります。

た。各部署にデスクトップパソコンを設置しておりますが、外来や回診がある病棟ではノートパソコンも活躍しています。



患者様の情報はカルテ番号や氏名等で検索できますので、カルテを探す手間が無くなりました。もちろん、紙カルテの保管スペースも必要ありません。

文字が電子化された事により視認性が上がり、手書きの文字で読み辛いという事も無くなりました。カルテ開示の際は、パソコンから印刷するだけです。紙カルテをコピーする手間も無くなりました。

検査結果やレントゲンの画像も電子カルテより直接呼び出して確認できます。これまで稼働していた各部門システムとの連携も行っており、オーダーや実施、それに対する医事処理もスムーズに行う事が出来ます。ただし、過去の紙カルテはまだ手放せません。閲覧の機会もあり

ますので、医事課や診療情報管理室に保管している紙カルテが片付くのはしばらく先になりそうです。

その他、使用経験がある求職者へのアピールにも繋がったと考えております。

セキュリティについて

電子カルテの端末は、全ての情報が蓄積された「サーバ」と呼ばれるパソコンにネットワークで接続して使用しています。個々の端末にデータは残らない仕組みですので、仮に端末が盗難される事があっても、ネットワークから切り離されるため、患者情報が盗まれる事はありません。各端末にはウイルスの侵入を防ぐセキュリティソフトも導入しております。

情報は安全に守られています



今後の予定

総務課 増永真一郎

電子カルテ導入から早いもので1年が経過しようとしておりますが、必要に応じてカスタマイズできると思います。導入に際し、ご協力頂いた業者様、患者様、職員の皆様にご場を借りて御礼申し上げます。院内では4月より電子カルテ委員会が立ち上がり、県内で同じ電子カルテを利用されている病院のユーザー会に参加し情報交換も行っております。より良い環境で使われる様、改善に努めてまいりますので、今後共よろしくお願致します。

患者様へのお願い

電子カルテの患者情報を検索する際、カルテ番号を入力する必要があります。ですので、電話でお問い合わせの際は、診察券に記載されているカルテ番号のご確認をお願い致します。



表参道吉田病院の理念

思いやりの心と
良質で安全な医療を提供し
選ばれる病院をめざします。

基本方針

- 1 患者さまの人格と権利を尊重し、患者さま中心の医療を提供します。
- 2 職員はこころと技術の研鑽をつみ、良質で安全、安心な医療の提供に努めます。
- 3 地域において、高齢者に質の高い医療とケアを展開し、他の医療機関、介護福祉施設との連携を図ります。
- 4 予防医学から治療まで包括的な医療を提供します。
- 5 健全な病院運営をめざします。

表参道 吉田病院

Yoshida hospital
NEWS

教えて、ドクター!

vol.55

消化器内科 診療部長
渡邊 久倫



略歴

熊本市立桜木小学校卒業
私立熊本マリスト学園中学校、高校卒業
私立愛知医科大学 医学部卒業
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター(旧国立名古屋病院)研修医→消化器科医員
岐阜県立社会保険病院 消化器科医員→医長
可児とうのう病院 消化器科医長

C型肝炎を取り巻く環境・治療法

C型肝炎とは

今回はここ数年で治療法が劇的に変化したC型肝炎についてお話しさせていただきます。

1989年、米国Chiron社の研究グループにより非A非B型肝炎の患者から遺伝子断片が分離され、C型肝炎ウイルス(HCV)と名付けられました。血液・体液を介して人から人へと感染していきます。感染経路は輸血による二重子エック方式によって、輸血・血液製剤からの感染はほぼ根絶状態にあります。このように二重子エック方式が行われる以前に輸血を受けた既往のある方がまだまだ多数存在しており、C型肝炎ウイルスの感染者は現在日本に150〜200万人いるといわれています。しかも自覚症状に乏しいなどの理由から、そのうちの約半数は自身が感染していることに気づかずに生活していると推測されています。



症状

C型肝炎ウイルスに感染すると、以下のようなことが起きます。

- 肝炎・肝硬変が発症する。
- 肝臓がんを初めとした重篤な疾患に罹患する危険性が高まる。
- 感染者の血液を輸血した場合、相手にも感染してしまふ可能性がある。

治療法

しかしC型肝炎ウイルスはきちんと治療すれば限りなく完全にウイルスを排除することができます。これは、

C型肝炎ウイルスは感染者のうち70・80%が進行の遅い肝炎(慢性肝炎)を発症します。気づかずそのまま生活していると、徐々に肝臓を蝕んでいき肝硬変(肝炎が悪化し、肝臓が硬くなり小さくなってしまふこと)へと進行し、最終的には肝臓がん、肝不全、食道胃静脈瘤など致命的な疾患に罹患する危険性を高めてしまふます。

C型肝炎の治療は2014年の前半まではインターフェロン注射での治療が中心でした。インターフェロンはウイルス本体に直接作用することはできない治療法で、発熱・倦怠感・関節痛など副作用についての課題も多かったため年齢の若い、体力のある患者以外には積極的に勧められるものはありませんでした。注射のため週1回は医療機関に受診する必要があり、治療期間は48週間(最長で72週間)にも及ぶため完遂できずに脱落してしまふ患者さんも珍しくありませんでした。そこまでの労力を費やしても治療が成功してウイルスが体内から排泄される確率は、全体で約50%ほどであったため治りにくい病気と認識されてきました。

このようなC型肝炎治療を根本から変えたのが2014年秋以降から発売されたインターフェロン注射を使わない内服薬(抗ウイルス薬)を中心とした治療方法です。これまでの治療法とは異なり、ウイルスに直接作用す

最後に

この数年間でC型肝炎を取り巻く環境は大きく変わり、注射や点滴で治療する治らない病気から、飲み薬でほとんどの患者さんが治る病気になりました。

ただこのような効果的な治療も、ご自身がC型肝炎であることを知っていなければ受けることができません。多くの感染者は自分が肝炎ウイルスに感染していることに気づかず、長い間放置してしまっています。そうした状態が続けば治療を受ける前に本人の肝臓がひどく蝕まれてしまい手遅れになってしまふ場合や、ご家族やパートナーなど他者にウイルスがうつってしまふこともあります。このようなおことを防ぐためにも、特に輸血をされたことがあるかた、ご家族にC型肝炎の既往があるかたは肝炎ウイルスの検査を一生に一度は受けていただくことをお勧めさせていただきます。

外来担当医師予定表

受付時間
平日/午前…8:30~12:00(診療は9:00からとなります)
午後…13:00~17:00(診療は13:30からとなります)
土曜日/午前…8:30~12:00(診療は9:00からとなります)
休診日/日曜・祝祭日

※SAS…睡眠時無呼吸外来/田中・安藤・吉田仁

安藤医師の診察について

予約制となっておりますので電話等でのご予約をお願い致します。

水曜日午後の消化器内科の診察について

予約制となっておりますので電話等でのご予約をお願い致します。

医師名		月	火	水	木	金	土
吉田仁	午前	●			●		●
	午後						●
安藤	午前	●	●			●	
	午後			●			
吉田元	午前				●		
	午後						●
田中	午前		●	●			
	午後	●				●	●
吉田俊	午前		●				
	午後			●			
小島	午前				●		
	午後						●
渡邊	午前	●			●		
	午後						●
代謝内科							第2週 岡川 第4週 板井

お問い合わせ先: TEL.096-343-6161

FAX.096-343-7626

●H30年5月1日より

第23回

糖尿病勉強会

第23回健康教室 糖尿病勉強会が
6月30日(土)に開催されました。

「健康教室」

第23回



夏に向けての糖尿病管理

平成30年6月30日(土)当院にて第23回糖尿病教室が開催され、9名の方が参加されました。今回のテーマは「夏に向けての糖尿病管理」。

まず、吉田仁爾総院長から「恐～い高齢者の脱水」ということで、脱水症の話がありました。脱水症は、症状が進まないと気づきにくいもので、特に、本人や周囲の人が気づかない「かくれ脱水」には注意が必要です。脱水症にならないために大切なのは、日頃から脱水症予防を行うことです。中でも、高齢者は体の水分は不足しがちなため、意識して脱水症予防を行うことが大事です。

日頃からできる脱水症予防方法

● 定期的な水分補給をする

→日常生活でのイベントのタイミングに合わせて水分を摂る時間を決めるようにするとよい
1度に1～1.5Lの水分を摂るのではなく、体の状態にあわせて、分けて摂取するようにする

● 一日に必要な水分量を知る

→一日で失われる水分量は高齢者で約2.5L
体内の水分量のバランスを保つために、一般的に高齢者は食事以外で一日1～1.5Lの水分摂取が必要

次に、看護師から水分補給の注意点について話がありました。熱中症対策として摂る水分の中で、ジュースや炭酸飲料は糖分が多く含まれるため、糖尿病患者さんの水分補給としてはお勧めできません。また、アルコール飲料(特にビール)、コーヒーや緑茶などカフェインが多く含まれる飲物は、利尿作用があるため、飲み過ぎないように注意しましょう。

管理栄養士からは「夏の食生活の注意点」について話がありました。夏の食事は、素麺やざる蕎麦などの麺類が多く、冷たい食べもので済ましてしまいがちですが、炭水化物に偏り必要な栄養素がとれない状態になりやすいです。また、冷たい食べ物の影響で胃腸の動きが弱まって、さらに食欲が低下してしまいます。そこで、夏の食材のポイントとおすすめ食材の紹介があり、レシピとともに「豚肉と夏野菜のバターポン酢蒸し」の試食がありました。

夏の食事のポイントとおすすめ食材

- 量より質を考えて摂りましょう
- 香辛料や薬味で食欲アップ
- 水分&ミネラルを補給
- 冷たい飲物を摂り過ぎないように
- ビタミンB1を補給



糖尿病患者さんにとって、食事による血糖コントロールは重要で、夏に糖尿病の状態が悪化することもあります。夏こそ規則正しい生活リズムを心がけ、バランスのとれた食事を摂ることが大切です。

途中、理学療法士による健康体操のブレイクタイムを挟みながら、これからやって来る暑い夏に向けての糖尿病管理について学ぶことができました。次回は、9月下旬に脂質異常についての健康教室を開催する予定です。ご興味をもたれた方は是非ご参加ください。



(病院・木村)

第46回

健康講演会レポート

『便秘』腸内環境を整えよう

講師:薬剤科 古川貴美子



便秘とお薬について ～日頃のお通じ、いかがですか?～

5月26日(土)14:00～第46回健康講演会「便秘とお薬について～日頃のお通じ、いかがですか?～」が開催されました。講師は当院薬剤科の古川貴美子薬剤師です。

便秘の日本人は約470万人(約26人に1人)いるそうです。そもそも便秘とは、本来体の外に排出すべき糞便を十分量かつ快適に排出できない状態の事をいいます。排便の回数や便の量が少なく、毎日排便があっても残便感や不快感があることも便秘といえます。

表参道吉田病院主催 第四十六回健康講演会
「便秘」腸内環境を整えよう
平成三十年度第一回
「便秘とお薬について」
～日頃のお通じ、いかがですか?～
講師 当院薬剤科 古川 貴美子

最も多くみられるのが、大腸の緊張がゆるんでぜん動運動が十分に行われなため腸に便が長くどまり、水分が過剰に吸収されて便が硬くなる便秘です。治療の基本は食事や運動などを見直して生活改善を行い、それでも効果がない場合は治療薬を服用します。服用していても改善が見られない場合や体調の変化がある場合は、自己判断せずに医師や薬剤師にご相談ください。便秘とうまく付き合うためには、便を出すことが目的にならないように、生活の質を改善することを目的に継続していくことが大切です。良好な排便習慣のコツは、食後の胃腸反射を利用して、便意がなくても決まった時間(朝食後)にトイレへ行くようにしてみましょう。和式便座では自然と排便しやすい姿勢になります。洋式便座では、前傾姿勢、ひじを太ももにつける、かかとを浮かせる、腹筋に力を入れると排便に適した姿勢になりますので試してみてください。会場の皆様からは、便秘について新たな知識を得ることができ、便秘とうまくつきあっていたという感想を頂きました。



最後には、会場の皆様からも質問が飛び交い有意義な時間となりました。

便秘「腸内環境を整えよう」を年間のテーマとし4回シリーズで開催予定です。便は身体の調子を判断する身近なものであり、健康の指標にもなりますので是非次回のご参加もお待ちしております。

(病院・宮崎)

御活用下さい 旬レシピ

毎月10日前後に、その月に旬を迎える栄養価に富む野菜を利用した手軽に出来るレシピを2～3品紹介しています。警備員室横に設置しておりますので、毎日の食事作りの参考にぜひご活用下さい。

(栄養科)

NADESHIKO INFORMATION

なでしこ広場

「表参道 吉田病院」や「介護老人保健施設 なでしこ」の様々な情報をお届けします。

優良事業所 及び 防火管理者表彰

「表参道吉田病院・ 介護老人施設なでしこ」が 熊本市防災協会より 表彰状を頂きました!



この度、起生会「表参道吉田病院・介護老人施設なでしこ」が熊本市防災協会より表彰状を授与されました。

これはひとえに、職員皆様が防火防災に対し強い責任感を持たれ、日頃から防火訓練、防災研修等に参加され、防災に真剣に取り組まれている意識の賜物だと思っております。

大地震は熊本では起こらないと思っていた2年前の熊本地震のように、何時何処でどんな災害が起こりうるか分かりません、その為に

は日頃から災害に対する意識、準備、対処などの物心両面の準備が不可欠であり、自分の命、他の人々の生命を守るために努力しなければならないと思っています。

まずは職員一同防火意識を高く持ち、火災を絶対に出さない、又災害時には避難所として人命救助・給水支援拠点として活動し、皆様から信頼され安心して利用される病院であるよう職員皆様と協力し、頑張っていけたらと思う次第であります。

防火訓練

高い防火・防災意識を日々持ち続けます!



患者様を
安全な場所へ
誘導します



迅速な
消火活動!

平成30年6月15日に防火訓練を行いました。

地震発生から始まり、それに伴う火災発生という想定で実施いたしました。

職員一丸となり、火災現場捜索から始まり、消防への通報、消火活動、消火失敗からの避難誘導動作と職員がマニュアルに従ってリーダーの指示の下実施しました。

訓練終了後には反省会を行い、消防署からの指導事項を改善し、次の訓練にいかしております。

今後とも病院内での日頃の訓練、研修等を通して患者様ご利用者様の信頼を得る事が出来るよう職員一同、高い防火・防災意識を持ち勤務に励んでいきたいと思っております。

介護保険で何が利用できるの？

【訪問リハビリテーションについて】

居宅介護支援事業所 なでしこ
渡邊 あゆみ



皆様、こんにちは。今回は訪問リハビリテーションについてご紹介させていただきます。

訪問リハビリテーション

お体の状況によりリハビリをしたいのだけれど、身体状況やさまざまな理由により通いのリハビリのご利用が難しくあきらめておられる方、どうしても人と接するのが苦手な通いのサービスに行きたくない方などいらっしゃいませんか？

訪問リハビリテーションとは、リハビリテーションの専門職である理学療法士や作業療法士・言語聴覚士等が医師の指示に基づき、家庭を訪問して日常生活の自立を助けるためのリハビリテーションを行うサービスです。

リハビリテーションは機能維持と機能回復を目指すもので、要介護者等の日常生活動作(入浴・排せつ・食事等)の自立を促し、その結果、家族の介護負担が軽減されるほか、社会参加の実現を目指します。

ご利用に際しては主治医の先生からの指示書等が必要であり、指示に従って計画を立てサービスを受けて頂く流れとなっています。

訪問リハビリテーションのご利用までの流れ



主治医、ケアマネジャー、病院相談員、本人などから申し込みを受けます。

訪問リハ内容の説明と申込者の状況や希望、連絡先、訪問希望曜日や時間等を伺って頂きます。

ケアマネジャーにて調整等を行い、介護計画書(ケアプラン)を作成。ケアプランに基づき担当者会議を開始してケアプランの内容の確認等を行い、御本人・ご家族・事業所で情報の共有を行います。

主治医の情報提供書が出されたら、訪問開始となります。

※ 条件として月に1回の主治医の診察と情報提供書が必要となります。

業務内容

- 病状・障害・全身状態の観察 ● 身体機能訓練
- 日常生活動作訓練・家事訓練
- 住宅改修・福祉用具に関する助言
- 日常生活や介護方法に関する助言
- コミュニケーション訓練 ● 嚥下訓練



自己負担の目安

サービス費用

介護予防訪問リハビリテーション・訪問リハビリテーションとも	自己負担額	
1回(20分程度)につき	要介護	290円
	要支援	286円

* 平成30年の介護保険改定により自己負担について、2割・3割の負担の場合があります。

※ 次の場合は別に料金がかかることがあります

- 1.利用者それぞれの状態を考慮したリハビリテーション計画をつくり、それにもとづいたサービス利用を行い、ケアマネジャーを通して多職種協同のサービスを受けた場合
- 2.退院・退所直後に短期集中的にリハビリテーションを受けた場合
- 3.サービス事業所によっては事業所加算が発生する場合があります。



お気軽にご相談ください!

介護保険の事でご不明な点やお困りの際は、
居宅介護支援事業所 なでしこ までご連絡、ご相談ください。

tel 096-343-7458

vol.9

部署紹介

各部署で活躍するスタッフや日々の業務をご紹介します!

リハビリテーション科

表参道吉田病院のリハビリテーション科には現在、理学療法士4名・作業療法士2名・リハビリ助手1名の7名が在籍しています。

リハビリテーションとは、病気や怪我・高齢などによって運動機能や認知機能が低下した方に対し、寝返りや立ち上がり・歩くといった日常生活で基本となる動作の改善や、日常生活動作(食事・整容・更衣・排泄・入浴)の改善を目的として、ストレッチ・筋力強化練習・歩行練習・作業活動等を行う事です。

リハビリテーション科では、リハビリ担当医である吉田仁爾総院長のもと、「丁寧で優しく、しっかりしたリハビリ」という理念を掲げ、各部署との協力・連携を図り充実したリハビリテーションを患者様に提供するために、患者様のこれまでの生活や身体状況・家屋環境及び家族構成といった情報を医師や看護師等と共有しながら、退院後の生活に即したリハビリテーションの提供を行っています。

リハビリテーション科は2階の階段正面にあります。何か気になる事がありましたらお気軽にお尋ね下さい。

今回は「リハビリテーション科」をご紹介します!



患者さまに
寄り添います!

(リハビリテーション科・山本 将弥)

介護の知恵袋



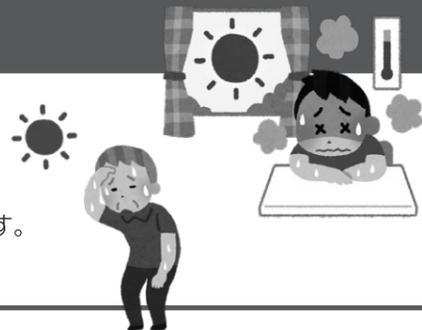
熱中症を防ぎ外出を楽しもう

暑い季節になると増えてくる熱中症。毎年、熱中症で亡くなる方は高齢者が多く特に注意が必要です。熱中症の予防・対策を行い、暑い季節を乗り切りましょう！暑さに負けない身体作りを行い、楽しく安全に外出する知恵をご紹介します。

介護老人保健施設
なでしこ
NADESHIKO
NEWS

熱中症とは

熱中症は気温が高いことなどで身体の中の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、身体の調節機能が正常に働かなくなることによって引き起こされます。人の身体は正常に熱を作り出す一方、汗をかいたり皮膚から熱を逃がすことで体温の上昇を抑えています。このような体温の調節機能がうまく働かず体内に熱がこもり体温が異常に上昇することで熱中症は起こります。重症化すると死に至る可能性もありますが、正しい知識と適切な行動で防ぐことができます。



① 熱中症の症状

- 筋肉痛や筋肉の痙攣(こむら返りなど)
- 倦怠感や吐き気、頭痛(身体がぐったりし、力が入りにくい状態)
- 汗のかきかたがおかしい(何度拭いても汗が出る。もしくは全く汗が出ない状態)
- めまいや立ちくらみ、顔のほてり



体調不良を感じたら
すぐに休憩を!

② 外出時の対策

- 薄着をする
- 外の気温と建物内の空調の温度設定で、かなりの温度差がある場合がありますので、一枚羽織ることのできる服を持ち歩く
- 帽子を被る
- 外の気温が35℃以上の時は運動を避ける
- 湿度の高い日は気温27℃以上で運動は避ける

③ 家の中の対策

- 部屋の温度を27℃以上にならないようエアコンを使用する
- 窓を開けたり扇風機や送風などで風通しを良くする
- 空気洗浄機や除湿機などで部屋の湿度も70%以下に下げる
- 遮光カーテンなどで日差しを遮断する
- 定期的な水分補給
- 塩分補給も大切です
- 寝る時に枕元には水分を準備しておく
- 家事(洗濯・掃除など)は意外と運動量が多いので終わった後には水分補給をする



家でも外でも、
水分補給は
こまめに行いましょう!



熱中症になったらどうすれば良いか? についてご紹介します(外出時・食べ物・お風呂)

外出時

- 涼しい場所に寝かせ安静を保つ
- 氷や濡れたタオルで首筋や額を冷やす
- スポーツドリンクなどで水分補給させる
- 自分で水分補給できない場合は病院で点滴が必要
- 足首を高くして休ませる
- 反応がない場合は直ちに救急車を呼ぶ

食べ物

- スポーツドリンク
- 梅干と冷たい麦茶
- 水分を多く含んだ果物や野菜
- 味噌汁



お風呂

- 比較的軽い熱痙攣の場合は立ちくらみや、こむら返りを起こすことがあります。この段階では熱中症と気付かないことも多いですが、これらの症状を軽視していると危険な状態に陥ることがあるので注意が必要です。40℃の湯船に浸かると500mlもの水分が体内から失われるので、たとえ症状が軽くても入浴は避けるべきです。水風呂など急激に体温を下げるとかえって症状が悪化するので大変危険です。また、健康な状態でもお風呂に入ることが原因で熱中症を引き起こすケースも報告されています。

入浴時の注意点

- 高齢者の一番風呂は避ける
- 入浴前後に水分補給する
- 長時間の入浴は避ける
- 湯温40℃以下で半身浴する(肩まで深く浸からない)

最後に...

外出は、体への負荷が高まることに加え、汗で水分が失われたり、日差しや熱の影響を受けやすくなります。服装を工夫する他、水分や休憩を十分とって体を守りましょう。また、高齢者の方は自分で暑さや喉の乾きに気づきにくいので、体調の変化も我慢をしてしまうことがあります。周りの人が体調をこまめに気かけ、予防対策を促してあげましょう。

(なでしこ・竹内)

なでしこ基本理念

個人として、家族・社会の一員として自分らしい生活を、生きがいのある生活を共に考え、共に歩んでいきたい。

入所トピックス

短冊に願いを込めて



7月7日「七夕の日」に合わせて3・4階で七夕飾りを行いました。短冊には、皆さん思い思いに願い事を書かれており、悩みながらも一生懸命取り組まれておりました。今年は特に、“全員”健康でありますように。“みんな”幸せでありますように。といった自分のことだけでなく家族やご利用者皆さんの願いを書かれたものが多くみられたのが印象的でした。お昼には、七夕御膳の特別メニューをいただき、七夕の歌を歌い笑顔で七夕の日を楽しませておりました。天気はあいにくの雨で天の川は見ることはできませんでしたが、皆さんの思いが彦星様と織姫様に届いているといいですね☆



(なでしこ・中村)

デイケアトピックス

なでしこ運動会

今年の運動会は、内容を充実させる為に、道具にこだわりました。熊本市から貸し出しを受けたり、職員が道具の作成をしたりと運動会の雰囲気が出るようにしました。紅白で組み分けした玉入れでは、相手チームに負けたくないという気持ちが利用者の皆様から出ており、いい勝負だったと思えました。

新しく作成したゲームでは、名前を一球入魂とし、一人一人に参加してもらいました。内容は、ネットにつけたプラスチック容器にボールを投げ入れるというゲームですが、なかなかボールが入らず苦戦されていましたが、とても盛り上がり楽しまれておりました。あと職員の競技も行ない、笑いあり涙ありの運動会になりました。



(なでしこ・上田)

こ・こ(Co・Co)トピックス

七夕ミニコンサート♪



デイサービスこ・こでは7月7日にギターのボランティアに来て頂き七夕ミニコンサートを行いました。

デイルームには短冊や折紙で作ったたくさんの飾りを付けた大小2本の竹と、天の川をイメージした壁紙を飾り雰囲気盛り上げました。

短冊には利用者様の様々な願いが書かれており、その中に「娘三人の幸せ」と書いた短冊がありました。子を思う親の気持ちはいくつになっても変わらないものですね。

当日は曇り空でしたが、利用者様の大きな歌声が届いたのでしょうか、時折晴れ間がのぞき、ギターの色音と共に楽しい時間を過ごしました。皆様の願いが叶いますように☆



(こ・こ・石橋)

なでしこ

その⑥1 調査隊

ちょうさい

「表参道 吉田病院・なでしこ」の周辺には、楽しいスポットがたくさん！
今回は吉田病院側から藤崎宮交差点を渡ってすぐのお店「ワイン食堂トキワ」さんをご紹介します。



ワイン食堂トキワ

オシャレな店内

様々なワインが楽しめます

隠れ家感が魅力です!

◎住所 / 〒860-0863 熊本市中央区坪井 2-4-28 2階
◎営業時間 / ランチ：12時～13時30分ラストオーダー
※ランチは火・金・日曜日のみ
ディナー：18時～22時ラストオーダー
◎TEL / 096-240-5252 ◎Instagram / @syokudo_tokywa
◎店休日 / 毎週水曜日(月に1回不定休あり)

今回のなでしこ調査隊は、吉田病院側から藤崎宮交差点を渡ってすぐのお店、「ワイン食堂トキワ」さんをご紹介します。

入口の扉を開けて階段を上ると、ワインセラーに保管されている多数のワインやワインの味わいを引き立たせるワイングラスが目飛び込み、ワイン好きにはたまらない空間が広がっています。

お二人は以前、大阪で約10年ビストロのお店を営んでいらっしゃいましたが、子育てをきっかけに奥様の地元である熊本へ転居し、2017年1月20日に現在のお店をオープンされました。

ワインもナチュラルワイン(原料となる葡萄も無農薬で、天然酵母を使ったワイン)を取り揃えており、フランス産・イタリア産のものがほとんどですが国産のワインもあり、現在のおすすめは「玉名」という赤のナチュラルワインとのこと。また、野菜や肉等の食材にもこだわりが見られ、無農薬はもちろん、生産者がわかるものを仕入れて使用し、安心できるものを提供しているそうです。

今回はおすすめメニューでもあるガスパチョのスープ、前菜6種盛り合わせ、豚肉と夏野菜の Pastaを試食させていただきました。

スープはピーマン・トマトなどの夏野菜とお酢で作られた程良い酸味の効いた冷製スープで、食欲低下が起こりやすい暑い季節にピッタリな料理です。

前菜6種盛り合わせの組み合わせは、お店の方のお任せになります。今回はポテト

サラダ、蒸し鶏のゴマダレ、大豆の醤油煮、羽ガツオのサルサヴェルデ、冷奴の梅ダレかけ、まめアジの南蛮漬の6種で、和食から洋食まで幅広いメニューが揃っていました。

パスタで使用されている豚肉は、「走る豚」と言われる菊池市内の豊かな自然の中で自由に走り回って育ったお肉が使用され、脂身が少なく豚特有の臭みもありませんでした。

ランチメニューは、火曜日・金曜日はパスタランチ(スープ又はサラダ、パスタ、自家製パン)、日曜日はカレーランチとなっており、カレーは2種類から選ぶことができます。また、自家製のレモン漬や梅干は飲み物や料理に使用されており、食材へのこだわりを随所に感じるこの出来る料理を皆さんも味わってみてはいかがでしょうか?

客層は30～50代の方が多く、仕事終わりに一人で来店する方もいるそうです。特に週末は来店者が多く、座席数が少ないので事前に問い合わせをすると良いでしょう。また、子供用の椅子もあるので、お子様連れでも安心して食事を行うことが出来るお店となっています。(グループ全員がノンアルコールの場合、御遠慮していただくことがあるのでご注意ください。)Instagramで店休日等の情報発信も行っているそうなので確認し、ぜひ足を運んでみて下さい。

(病院・嶋崎/福重)

調査隊 ちょうさい 次回取材先は?

さて、ここはどこでしょう? 皆さん解りますか?
わくわく調査隊の次回取材先は一体??

スマイルクラブ

大好きな書道をきっかけにこれからも楽しみを見つけたい!

スマイルクラブとは、なでしこ・デイサービスこ・こでイキイキと活動されているご利用者の紹介コーナーです。



今回は、なでしこ入所ご利用者「森高 睦子 様」をご紹介します。

森高睦子様は、昭和12年3月25日八代市生まれ。0歳の時、天草へ家族で移住されたのを機に、精米や穀物を扱う会社を設立され家族で生活されておりました。

なでしこでは、他のご利用者を気にかけて下さる優しい森高さん。リハビリや行事にも意欲的に取り組まれなでしこでの生活を過ごされておられます。

Q 書道を始めたきっかけは何ですか?
A 中学校で書道クラブに所属したことがきっかけです。その他にも、コーラスや珠算と様々なクラブに所属し何でもこなしていました。

Q 書道をしていて楽しい事は何ですか?
A 自分で書いた書を額縁に入れて飾ることが楽しくて達成感も感じていました。天草郡の書道コンクールで3位になった事があります。

Q なでしこでの暮らしはどうですか?
A 皆さんとても良くして下さいるので暮らしやすいです。でも、まだ、元気もあるので珠算教室を開いたり、何か楽しみを作りたいと日々考えています。

Q これからの目標はありますか?
A 早く楽しみを見つけて健康なうちに1つでも何か出来たらいいなと思っています。

今回は、何にでも挑戦し取り組まれる元気な「森高睦子様」のご紹介でした!
たくさんお話を聞かせていただき、書道も教えて下さいました。ご協力ありがとうございました!

(なでしこ・上田)